

民法が改正され、2022年から成年年齢が20歳から18歳に下がります。

「そもそも大人って？」

「成年年齢引下げで何が変わるの？」

「私たちには何が出来るの？」

たくさんの若者が集い、考えあいました！



開催日時 | 2018年12月2日(日)
 10:00～12:10
 場所 | 立命館大学 明学館
 参加人数 | 400名
 (うち大学生協関係者296名)

01 成年年齢引下げに関する事前アンケート結果報告

みんなは「成年年齢引下げ」をどのようにとらえているのだろう？

2018年の5月に大学生協関西北陸ブロックで行った、成年年齢引下げに関してアンケート調査の結果報告を行いました。成年年齢引下げに対する認知度や関心、未成年者取消権の認知度などについて若者の現状を概観しました。



このアンケート調査は、18～19歳の多い大学1年生を対象に行いました！

02 増田朋記氏による講演

成年年齢引下げと私たちの生活のつながり

京都弁護士会の増田氏から、民法改正・成年年齢引下げに関する基礎的事項について解説してもらいました。「民法における成年の意義」、「その他の法令への影響」「私たちの生活が変化する可能性」「成年年齢引き下げの議論の経過」といった内容についてお話していただきました。



「成年年齢引下げに関して理解が深まりました！」という声が聴かれました◎

03 古市憲寿氏による講演

社会学者から見た「成年年齢引下げ」

スペシャルゲストとして、社会学者の古市氏から講演をしていただきました。

そもそも「若者」や「大人」とはどのような存在か、といった内容や、少子高齢化する現代社会において、若者が声を上げることの重要性などについてのお話をいただきました！



若者に期待することなどを話していただきました！

04 パネルディスカッション

「大人」ってなんだろう？

まず「大人」とは何かについて考えを深めていきました。学生からは「自分のやったことに責任が取れること」といった発言がありました。まとめとして、坂東氏から「自分でできることと、自分でできないことを区別し、できないことは相談できる人が大人ではないか」という発言がなされました。

行政に期待することは？

次に「成年年齢下げを見据え、行政に求めること」について議論しました。まず増田氏から、成年年齢下げに伴い、18～19歳の消費者被害が増加することが懸念されているという話がありました。また、参加者からも、架空請求やねずみ講のような被害を受けた、もしくは周りで起こっていたという声があがりました。

パネラーからは、「高校、大学での消費者教育の強化」という意見が出た一方で、教育だけに頼るのではなく、「相談できる場をつくること」や、そもそも「若者と議論する場をつくること」などが挙げられました。

私たちにできることってなんだろう？

最後に「若者が社会を変えるために行動できること」について議論しました。増田氏からは、今回の企画のような、若者が議論していることを伝え広げていくことが提案されました。

また、古市氏からは、行政に違和感や疑問点を直接伝えることや、自分の仲間から「利害の代表」を選出し、選挙に出馬できるような「若者の意見が通る仕組み作り」が提案されました。



立命館大学と京都教育大学の学生がパネラーとして登壇しました！



古市氏、増田氏に加え京都産業大学の坂東氏から若者へメッセージが送られました！



当日は会場からの発言がたくさん出ており、若者が直接疑問をぶつけていました！

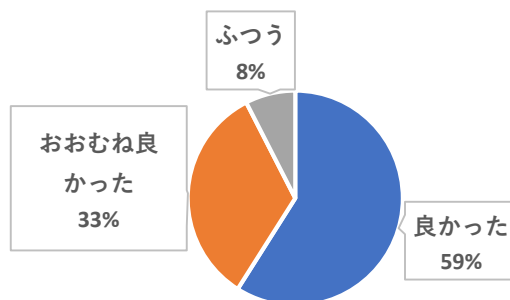
+A 当日のアンケートの声を紹介します！

当日アンケートでシンポジウム全体の満足度を尋ねたところ、「良かった」と答える人が59%で最も多かったです。

「2022年からの成年年齢下げに向け、これから若者はどのような力をつけていく必要があると思いますか」という質問に対しては、「相談する力」「成人であるという意識をもつ」「自身で判断できる能力」「意見を伝えていく力」「社会に関心を持つ力」という回答が見られました。

「成年年齢下げを見据え、行政に期待することをお聞かせください」という質問では、「成年年齢下げによる変化、影響の周知の徹底」「小中高での消費者教育の強化」「学校と消費生活安全センターの連携」「大学生への消費者被害啓発活動」「相談窓口の周知」「SNSの活用」「若者の意見を聞く場を設ける、仕組みを作る」といった意見が見られました！

シンポジウム全体（内容）



成年年齢下げは、当事者が議論が進んできました。今回のシンポジウムで出た意見やアンケートで書かれたことはとても貴重です。「大学生はこのように思っている」ということを行政に伝えていきます。そして私たちの「よりよい生活」のため、行政と協働できる部分を探し、次年度の推進につなげていきます。

ご参加いただき、ありがとうございました！



京滋・奈良エリア学生事務局
【西山厚人】

京滋・奈良エリア